



2018年8月30日  
株式会社ホロン

## 専門店向けにAIを活用した需要予測機能の連携に関するお知らせ

株式会社ホロン（本社：名古屋市中村区、代表者：代表取締役 小泉 登、以下「ホロン」という）は、アパレルを中心に多くのお客様にご採用頂いている基幹システム「AP-Vision/21.NET」の後継版として、株式会社ヴィンクス（本社：大阪市北区、代表者：代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉、以下「ヴィンクス」という）とクラウド対応版「AP-Vision CRIOS」（ヴィンクス製品名「AP-Vision/Cloud」）を共同開発しており、順次リリースしています。

この度、ヴィンクスが主体となり、2018年秋に、AIを活用した需要予測機能を基幹系システムと連携するサービス提供を開始し、「AP-Vision CRIOS」（ヴィンクス製品名「AP-Vision/Cloud」）のデータ連携も標準インターフェースとして順次リリースすることを決定しましたのでお知らせいたします。

ヴィンクスは専門店業界向けソリューション提供のため、2017年にホロンに出資すると共に、SENSY株式会社（本社：東京都渋谷区、代表者：代表取締役CEO 渡辺 祐樹、以下「SENSY」という）に出資しました。

今秋より、この「AP-Vision CRIOS」（ヴィンクス製品名「AP-Vision/Cloud」）に、SENSYの提供する、感性を学習するパーソナル人工知能「SENSY」を活用した需要予測サービス「SENSY MD」との標準連携モジュール提供を開始いたします。「SENSY MD」は、AI技術により、投入後アイテムに関して販売数量をSKU単位で予測、また値引き額、値引き時期をシミュレーションし、利益最大化プランの提案を行うことによって、不良在庫・機会損失の低減、マーチャндаイジング・オペレーションの高度化を実現します。実証実験では、MD担当者を超える予測精度を実現し、粗利益はおよそ18%の改善結果となりました。

この標準インターフェースによって、AP-Visionシリーズを採用しているユーザーには、迅速に「SENSY MD」を採用いただけます（標準的な導入期間4か月）。また、それ以外のユーザーに対しても、ホロン及びヴィンクスのアパレル業務経験者、システム開発経験者が、ユーザーの基幹システムと標準インターフェースをベースに独自部分の構築を支援いたします。

さらに、来春、「AP-Vision CRIOS」（ヴィンクス製品名「AP-Vision/Cloud」）のマルチデバイス対応バージョンをリリースします。

基幹システムに求められる、操作画面の高い表現力・操作性を確保しつつ、OSに依存しないマルチデバイス化への対応を行います。これにより、短期間での基幹システムの習得と省スペースや既設機器の有効活用など店舗、本部にあったデバイスの選択が可能になります。

また「AP-Vision CRIOS」（ヴィンクス製品名「AP-Vision/Cloud」）を取り扱える、デジタル化などの高度なITスキルを有するヴィンクス要員をユーザーに派遣するサービスを開始します。開発・運用・保守業務ワンストップサービスをご活用いただくことで、ユーザーが情報システム業務から開放され、専業に集中する環境を提供いたします。

これらの製品・サービスの提供を通じて、アパレル業界・ユーザー企業の効率化・発展に寄与の実現を目指してまいります。

#### 【ヴィンクスの概要】

社 名 : 株式会社ヴィンクス  
所 在 地 : 大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル  
代 表 者 : 代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉  
事業内容 : 流通小売業向けソリューションの提供  
U R L : <https://www.vinx.co.jp/>

#### 【SENSYの概要】

①商号 : SENSY株式会社  
②代表者 : 代表取締役CEO 渡辺 祐樹  
③本店所在地 : 東京都渋谷区神南一丁目12番16号 アジアビル5階  
④主な事業内容 : 人工知能開発事業  
⑤URL : <https://sensy.ai/>

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ホロン  
E-mail : [info@holon.ne.jp](mailto:info@holon.ne.jp)

以上